

製品名: CTBP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02957**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.39mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 49 kDa; Observed MW: 49 kDa

抗原情報

遺伝子名	CTBP2
別名	C-terminal-binding protein 2
遺伝子 ID	1488
SwissProt ID	P56545
免疫原	ヒト CTBP2 の合成ペプチド

背景

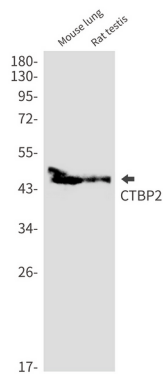
この遺伝子は、2つの異なるタンパク質をコードする代替転写産物を生成します。1つのタンパク質は転写抑制因子であり、もう1つ

のアイソフォームはシナプスリボンとして知られる特殊なシナプスの主要構成要素です。どちらのタンパク質も、NAD⁺依存性2-ヒドロキシ酸脱水素酵素に類似したNAD⁺結合ドメインを有しています。3'非翻訳領域の一部を用いて、この遺伝子を染色体21q21.3にマッピングしましたが、ゲノム上の他の場所にも同様の遺伝子座が存在する可能性が高いことが指摘されました。BLAST解析により、この遺伝子は10番染色体に存在することが示されています。この遺伝子には、2つの異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2014年2月]

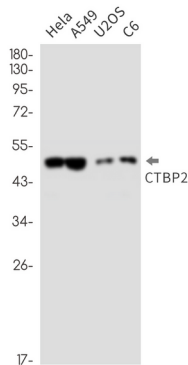
研究分野

微生物学

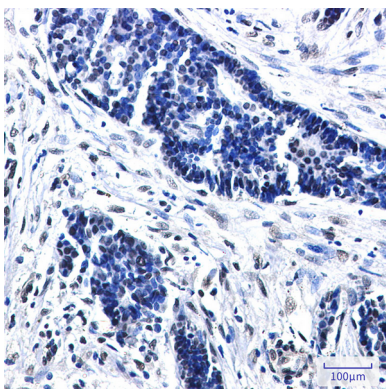
画像データ



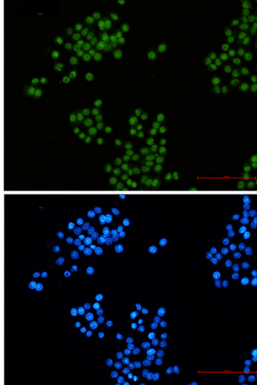
CTBP2抗体を使用したマウス肺、ラット精巣溶解物中のCTBP2のウエスタンブロット分析。



CTBP2抗体を使用したHela、A549、U2OS、C6溶解物中のCTBP2のウエスタンブロット分析。



CTBP2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



CTBP2 抗体と DAPI (青) を使用した hela 内の CTBP2 (緑) の免疫細胞化学分析。